

学期末における自治の取組紹介

入学・進級を経て、新しい仲間や先生方との出会いの中で子供たちは自分の居場所を見つけられているでしょうか。また、学校や学級での安心・安全は守られているでしょうか。1学期が終わろうとしている今、子供たちが自ら生活について振り返り、自治力を高めた状態で2学期を迎えるための取組を紹介します。

学級における取組

◆学級目標の達成に向けて現在値を測る



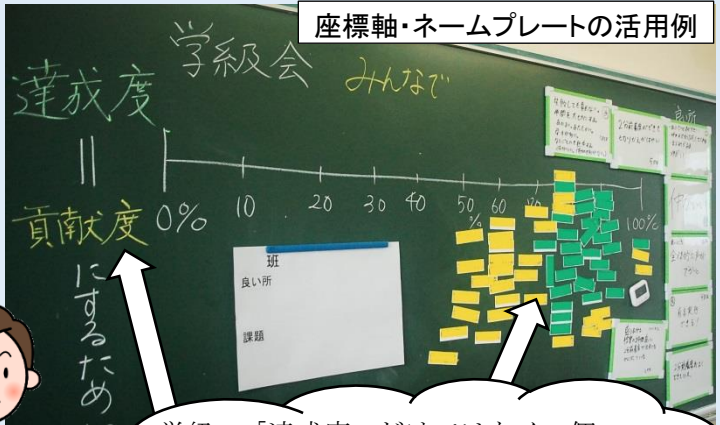
あんなに話し合ってたのに、1学期間、教室の後ろに飾られたままだ・・・。



現在の達成度は何%だと思いますか？座標軸に自分のネームプレートを貼って、その理由を話し合ってみよう。



箕蚊屋中学校の実践



座標軸・ネームプレートの活用例

学級の「達成度」だけではなく、個人の「貢献度」も色を変えて示すことで、自分と学級自治との関わりを考えることができます。

箕蚊屋中学校の実践

複数の項目を数値化することにより、何が達成できていて、何が課題なのかを可視化します。

レーダーチャート活用例



ここがポイント！

できていないことだけではなく、できていることや、できるようになりたいことなどにも目を向け、肯定的に捉えた上で2学期の取組に向かえるようにすることが大切です。

児童会・生徒会における取組

◆終業式や始業式の後、全体の場で児童生徒主導の時間を確保する

- 学級や学年等の1学期の振り返りや2学期への抱負
- 西部地区総体の結果報告会や県大会への抱負（中学校）
- 運動会や体育祭に向けて（スローガン発表、ダンスリーダー募集等）
- 夏休みの過ごし方について（代表の児童生徒が全校へ呼びかける）

◆地区別子供会（登校班）で話し合いをする

- 身の回りの地域や通学路における危険箇所や交通安全の確認
- 公民館や地域の行事（夏祭り・ラジオ体操等）への参加呼びかけ



教師が一方向的に話すのではなく、児童生徒が主体的に自分たちの生活を振り返ることができる場の設定が大切です。



自分を表現したり、仲間を認め合ったりできる集団の育成が、安心・安全な学校づくりにつながります。



【バックナンバー紹介】

平成27年度7月号「シリーズ若手教師のための学級づくり『夏休み前の学級づくり』」も参考にどうぞ。西部教育局のホームページから、ご覧いただけます。

